

## AEARU Student Summer Camp 報告書

薬学部 薬科学科 4 年

以上が今回参加したサマーキャンプのスケジュールです。どのイベントも非常に良く企画されており開催大学である POSTECH(浦項工科大学)のサマーキャンプへの熱意を感じ、予想していたより遥かに充実した5日間を過ごすことができました。

| Time        | Day 1                   | Day 2                           | Day 3                | Day 4                | Day 5            | Day 6     |
|-------------|-------------------------|---------------------------------|----------------------|----------------------|------------------|-----------|
| 08:00-09:00 | Arrival                 | Breakfast                       |                      |                      |                  |           |
| 09:00-10:00 |                         | Opening Ceremony, Invited Talks | Workshop Session 1   | Discussion Session 2 | POSCO Tour       | Departure |
| 10:00-12:00 |                         |                                 |                      |                      | Trip to Gyeongju |           |
| 12:00-13:00 | Lunch                   |                                 |                      |                      |                  |           |
| 13:00-15:00 | Check-in & Registration | PAL & PIRO Tour                 | Workshop Session 2   | T.O.P.               |                  |           |
| 15:00-16:00 |                         | Lab Tour                        |                      |                      |                  |           |
| 16:00-18:00 |                         |                                 | Break                |                      |                  |           |
| 18:00-19:00 | Welcoming Dinner        | Dinner                          |                      | Barbecue Party       | Farewell Party   |           |
| 19:00-20:00 | Ice Breaking            | Play/ Concerts                  | Discussion Session 1 | Culture Night        |                  |           |
| 20:00-21:00 |                         |                                 |                      |                      |                  |           |

### ・Workshop session, Discussion session

事前に告知のあった

- 1.Facing the challenge of trust between East Asian countries
- 2.Going global beyond the invisible barrier
- 3.Sustaining the globe in search of East Asian collaboration

のテーマのうち東京大学チームはテーマ1を選び、プレゼンを作成しキャンプに望みました。プレゼンでは如何にして日本と東アジアの信頼関係を築くか、という観点から領土問題や歴史認識など物議を醸しえる問題を取り上げたため、他国の学生から日本の立場に対する否定的な意見も出るのではないかという不安もありました。しかし、プレゼン後の質疑応答では感情的な論争は起こらず、どの学生もお互いの国の立場を理解しようという姿勢でワークショ

ップに臨んでいることが感じられました。

また、このセッションを行った後の東大学生の感想として「自分たちの発信力の低さを痛感した」というものがありました。原因として、発表の場ではプレゼン経験が少なく、英語の能力も決して高くないためつい文章を棒読みしてしまいがちだったこと、質問に対して英語で的確な答えを返せないことなどが挙げられます。対して中国の、特に北京大学の学生がまだ1、2年生だったにも関わらずセッション全体を通して積極的に発言し、世界を牽引していくであろう中国の勢いを見たように感じたのが非常に印象的でした。ただ、日本の学生も英語での質疑応答に困難を感じながらも意欲的に質問をしており、総じて消極的と言われやすい日本人の印象が他国の学生の中でも、日本人学生自身の中でも変わったように感じました。

#### ・TOP

TOPとはTour Of Postechの略であり、半日を費やし参加者がグループに分かれて広大なPostechのキャンパスを回る企画でした。プログラム全体を通して最も学生運営チームのアイディアが発揮されていたのがTOPであったと感じました。図書館、体育館、学生会館などのチェックポイント毎でゲームが用意されており、ゲームでの得点の合計をチーム毎に競うというものでした。ゲームの種類はジェスチャークイズやバスケットのゴールのような体を使うものから、教養が必要とされるクイズまで様々でその数は13にも及びました。どのゲームも非常に盛り上がり、30℃を優に超える猛暑の中でも最後のチェックポイントにたどり着くまでチーム全体で楽しめたのは、一重にこれだけの練られたゲームを企画してくれたPostech学生運営チームのおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。

チェックポイントの中で最も印象的だったのは図書館でした。近代的な建物の中には、多数の蔵書・DVD、自習スペースだけでなく学生が使用できるセミナー室もありました。何よりも驚いたのはこの図書館が24時間開館しているという事です。これは、全寮制であるPostechならではの制度だと感じました(東京大学で図書館を24時間開館にしてみると、図書館を寝場所にする人が続出するでしょう)。

また、Postechの入り口にある大きな電光掲示板に「AEARU summer camp」と堂々と写っているのを見つけて皆でPostechの歓待に改めて感激しながら何枚も電光掲示板の前で写真を撮ったのも良い思い出です。

#### ・Culture Night

このイベントは各国で数大学毎にチームを組み、それぞれの国の文化について紹介するというものです。東京大学は筑波大学、東京工業大学とチームを組み日本の祭りについて紹介しました。私たちのチームは持ち時間を二分して前半はソーラン節を踊り、後半では屋台についてプレゼンを行い皆にその場で作ったお好み焼きを試食してもらいました。ソーラン節では会場が非常に盛り上がり、途中からは他の参加者だけでなくPostechの教授も加わり皆で一体となってソーラン節を踊ることができました。私を含め日本の女子学生数人は浴衣を着ての参加でしたが、浴衣が予想以上に人気で、一緒に写真を撮ろうと言ってくれる友人達に囲まれ皆嬉しい悲鳴を上げていました。

この Culture night では最後にカンカンスルレという韓国の古い踊りを全員で踊ったのですが、この曲は元々抗日の意味を込めて作られたものとスタッフの1人に教わりました。韓国人以外で実際にこの曲の持つ歴史を知りながら踊っていた人は殆どいなかったものと思いますが、AEARU summer camp のような東アジアの国々の学生が集まる場でこのような抗日の意味を持つ曲に合わせて韓国の学生と日本の学生が手を取って踊っていたことが、非常に印象的でした。

#### ・Farewell party

Farewell party では Workshop session や Culture night でのプレゼンに対して賞が贈られました。東京大学は光栄にも Workshop でのプレゼンにおいても Culture night においても賞を頂くことができました。

#### ・その他

以上が公式行事ですが、非公式の飲み会も何度も開かれました。Postech はキャンパス内に居酒屋(?)があり、気軽に皆で集まって飲むことができます。昼間に話さなかった恋バナをしていたらいつの間にか朝近くなっていたこともありました。国は違えども悩んでいる内容や恋する気持ち、将来への不安な気持ちは共通で、いつのまにか普段日本で友人と話しているのと同じように、たどたどしい英語ながら話しこんでしまっている自分がいました。私と友人数人は、Postech のスタッフの1人に韓国名をもらい、韓国名を貰った皆で名付け親を父として family を形成しました。ヘヨンというのが私の名前です。AEARU で出会った友人の中でも、この family のメンバーとは特に強いつながりができたように思います。「家族」の繋がりは世界共通で強固です。

また、東アジアの国々で友人ができたことはもちろんですが、このプログラムを通じて意識の高い東大内の友人ができたことは非常に大きな収穫だったと感じています。普段の生活では学部内での関わりが殆どであるため、分野は違えども同じキャンパスで活躍している魅力的な人達に出会い、話したことはとても良い刺激になりました。

プログラムの最後に Postech の教授が「Today is the last day of this camp, but actually, today is the beginning. for you all to lead East Asia」という趣旨のコメントを下されました。せっかく参加させて頂いたこのキャンプですので、ぜひここでできた繋がりを今後も保っていき、微力ながらもこれから東アジア間の協力・信頼関係に助力できればと思います。

最後にこのような素晴らしい機会を与えてくださった東大国際交流課の皆様、Postech AEARU student camp 運営チームの皆様、チーム UT の皆様、そして summer camp を通じて関わることのできた全ての人々に心より御礼申し上げます。



Family portrait

2010 年 8 月 15 日、私は記憶にある限り初めての離陸に緊張していました。3 歳のとき家族旅行で海外へ行ったきり、海を渡ったことがなかったのです。今回の参加が決まってからというもの、パスポート取得から航空券購入、韓国国内の移動手段の検討、トランクの選択に至るまで、私の頭は未知のことへのイメージでいっぱい、落ち着かない日々が続きました。しかしその甲斐あって、貴重な体験を通して今後予想されるいろいろなこと（国際学会やら、出張やら）へのハードルを下げる事が出来たように思います。

キャンプ初日の集合時間があいまいだったことと、開催地のポハンという町が国際線のある釜山の空港から地下鉄とバスを乗り継いで 2 時間程度かかる場所とわかっていたことから、私は前日に韓国入りして釜山を少し観光しました。はじめは町の文字がほぼすべてハングル文字であるというだけで面白く、写真を撮り続けるうちに 1 日が終わってしまいました。



キャンプ初日、ポハンのバスターミナルまで向かうと、開催大学 POSTECH に送ってくれるシャトルバスが出迎えてくれました。なぜか大学構内に入ってもバスは走り続け、「？」とっていると、ただどこまでも大学の構内なので目的の建物になかなかどりつかないだけでした。そう、POSTECH は山をまるまるひとつ切り崩してつくったと思われる、超巨大な大学でした。歓迎の食事会が終わると、まだ新しく快適な学生寮に宿泊です。この夏は昼間のうちは東京と同程度暑いですが、夜は東京より涼しいようです。





POSTECH は製鉄会社の出資で運営される大学なので、プログラム 2 日目にはその製鉄所の見学が組み込まれていました。分厚く長い真っ赤な鉄の塊がベルトコンベアーに乗って流れ、大量の水で冷やされて水蒸気が発生する様子を見せてもらいました。前日に大学の大きさを目に焼き付けていたこともあって、扱うものといい生み出すものといい、こういった工業はスケールが大きいなと感心すること然りでした（普段 DNA や細胞ばかりいじっている身にとっては、実に極端な経験です）。



3 日目は今回のキャンプのテーマにそって、学生によるプレゼンが行われました。政治、経済、文化といった非常に疎い部分が主で理解するのがやっとでしたが、学生や先生たち

で熱く意見が交わされ、刺激的な時間を過ごしました。今年の AEARU 学生サマーキャンプのテーマは、“How Can Northeastern Asia Lead the World?”でした。その中で、1：“Facing the Challenge of Trust between Asian Countries”、2：“Going Global Beyond the Invisible Barrier”、3：“Sustain the Globe in Search of Asian Collaboration”の3つにセッションが分かれていました。1では、社会の発展とともに問われてくる新たな社会基盤のあり方について話し合いました。信頼関係を築いていくことが、精神的にも金銭的にも安定した社会をつくるためのキーとなります。私たちはこの最初のセッションで発表し、お互いの国のイメージが間接的なものであること、交流をもって理解しあうことの重要性をアピールする発表をしました。2は、「見えない壁」を超えて個々人がネットワークを外へ外へと広げていくことで、独力では解決できない問題をも乗り越えていこうという趣旨です。個人の小さな力も、ネットワークを介せば国や世界を変える力となりえます。特に、そのような個人の力の芽を大切に育てるための教育という観点からこのセッションに切り込んだ発表が、私にとって印象的でした。3はサステナビリティを考えるためのセッションです。世界中で貧困や人口問題が深刻化しており、貧困は不景気へと、人口増加は一人一人へのケアの質低下へとつながっていきます。限られた資源で、皆が幸福な世界を維持していくにはどうすればよいのでしょうか。発表中には、現在急成長中の国がある一方で、外国人労働者や輸入品によって雇用問題が生じる国が出てくることについてどう考えますか、という難しい質問も聴衆側から投げかけられていました。基本的に良いものであるはずのそれぞれの国の発展が、世界に及ぼす影響・・・バランスをとることが一番大事で、かつ最難関であることを考えさせられました。

この日は夜にビーチへも出かけ、日本の観光地とは一味違ったきらびやかな夜景を楽しみました。



4日目は前日のプレゼンを受けてディスカッションが行われた後、POSTECH 構内のツアーがありました。特に図書館が立派で（正直に言えばこんなに立派である必要があるかと疑問に思うほどで）驚きました。設備が充実して非常に快適ですが、移動には自転車以上の移動能力がある乗り物が必須なキャンパスなのでした。



5日目は・・・なれない海外のためか、毎食続いたキムチのせいかな、腹痛で一日中寝ていました。心配してくれた皆様、お騒がせいたしました。

このような機会を与えて頂き、ありがとうございました。学部生最後の良い思い出となりました。





# 東アジア研究型大学協会学生サマーキャンプ 2010 参加報告書

薬学部 薬科学科 4年

東アジア研究型大学協会(The Association of East Asian Research Universities : AEARU)の2010年度学生サマーキャンプに参加させていただきましたので、ここに報告いたします。

## 1. 日程と場所

日程：2010年8月16日～2010年8月21日

場所：韓国 浦項工科大学校 (Pohang University of Science and Technology, POSTEC)

## 2. プログラム構成

|                |                                                                      |
|----------------|----------------------------------------------------------------------|
| Day1 August 16 | Arrival, Orientation, Welcoming Dinner, Ice Breaking                 |
| Day2 August 17 | Opening Ceremony & Invited Talk, POSCO Tour, PAL&PIRO Tour, Concerts |
| Day3 August 18 | Workshop, Pohang City Tour                                           |
| Day4 August 19 | Discussion Session, POSTECH Tour, BBQ Party & Culture Night          |
| Day5 August 20 | Excursion to Gyeongju, Farewell Party                                |
| Day6 August 21 | Departure                                                            |

## 3. 詳細

### <Day1>

1 泊していた釜山のユースホテルを出発し、地下鉄とバスで浦項のバスターミナルまで行きました。日本人にはあまりメジャーでないホテルに泊まるのは私もこの時がはじめてでしたが、オーナーの方がとても親切で、浦項までの行き方や時刻表など丁寧に教えてくれました。

浦項から POSTEC までのバスでは、他に東工大、北京大学などの学生と乗り合わせました。このときから本格的な英語でのコミュニケーションが始まるのですが、日常会話は特に問題なく楽しむことができました。



↑ 韓国のバスはとてもゆったりして、リッチな作りでした。

Welcoming Dinner ではご飯を食べながら、また Ice Breaking ではゲームを交えながら更に多くの学生と交流することができました。国による違い、また似ている点などたくさん発見がありました。

### <Day2>

午前中は Dr. と Dr. による Invited Talk でした。Dr. からはアジアの経済力についてのお話がありました。薬学部にも所属する私は、経済に関する授業を受ける機会ほとんど無かったため、とても貴重な機会となりました。特に中国の経済成長が世界的注目を浴び、日本の経済が停滞している今、タイムリーなデータが多くありました。Dr. からはアントレプレナーについてのお話でした。Dr. は実際にアントレプレナーとしてデジタルオーディオデバイスなどに関わる会社を経営し、活躍されています。実体験に即したお話も聞くことができ、大学で行われている研究の社会還元については私が最も興味がある分野のひとつでもあるため、非常に興味深いものでした。

午後はまず POSCO への見学がありました。実際に工場の中に入ったり、POSCO の歴史を紹介したミュージアムなどに行きました。ミュージアムには POSCO 創立当初の文書などが保管されており、(漢字かな混じり文のような) 漢字ハングル混じり文を見ることができました。近頃韓国で漢字教育が見直されているようですが、韓国でも漢字が広く認知されるようになれば、東アジアの結びつきはより身近なものになると思います。現に中国や台湾からきた学生とは時に漢字を交えたコミュニケーションをすることができました。

続く PAL&PIRO Tour では POSTEC の研究施設を見学しました。最新の大型サイクロトロン施設は圧巻でした。

夜には POSTEC の学生によるステージパフォーマンス、そして Pungmunori という韓国の伝統的なパフォーマンスを鑑賞しました。チアリーダーによるパフォーマンスでは参加者たち全員で肩を組んで叫ぶなど、一体となった瞬間がありました。



↑ Pungmunori のパフォーマンス

### <Day3>

キャンプのメインとなる Workshop がありました。以下の 3 つのセッションに分かれており、東大はセッション 1 に Building Blocks for Asia : Trust and Shared Perspectives as a Foundation for Our Future という題で参加しました。

Session 1 : Facing the Challenge of Trust between Asian Countries

Session 2 : Going Global Beyond the Invisible Barrier

Session 3 : Sustaining the Globe in Search of Asian Collaboration



各大学独自のアイディアを打ち出しており、創意工夫に満ちたスライドなど多くありました。プレゼンテーションのうまい学生や、活発に良い質問をしている学生たちを見ていて、自分に対する多くの課題が見えました。英語での発言力は、特に日本で普通に過ごしては身につけるチャンスが少ないので、意識して訓練していかなければいけないと心から思いました。

一方で、東大メンバーで話し合っ作り上げた発表は各々自信を持って行い、最後の Farewell Party の表彰において優秀賞をいただくことができました。英語やプレゼンのスキルなどが重要な一方、やはり内容が作りこまれていることが第一であるなど改めて思いました。

夜には気持ちを楽にして Pohang City Tour があり、韓国家庭料理を満喫したり、海岸でみんなではしゃいで楽しみました。男の子は服を着たまま海に飛び込んだり投げこまれたりしていて、どの国も若者がやることは変わらないなと思いました。



↑ 海岸からの夜景

#### <Day4>

前日の Workshop をふまえて、朝から Discussion をしてセッションごとのまとめをし、発表しました。短時間であり、取り扱っていた分野も違っていたのでなかなかまとまらず大変でしたが、なんとか最後には形にはすることができました。

午後は広大な POSTEC キャンパス内をゲーム形式で巡り、夜には BBQ Party と Culture Night がありました。Culture Party では各国学生がその国の文化や習慣を紹介します。歌やダンス、演奏など様々なパフォーマンスがありました。東大は東工大と筑波大と共同のチームで、ソーラン節（筑波）、浴衣の紹介（東工大&東大）、お好み焼きの紹介（東大）を行いました。ソーラン節は特に大人気で、「どっこいしょーどっこいしょー！ソーランソーラン！！」と皆で声を合わせて楽しみました。また、浴衣も大人気で、たくさん写真を撮られました。Farewell Party での表彰で、Workshop だけでなく、この Culture Night のパフォーマンスも入賞することができました。



↑ POSTEC Tour 同じグループの子と



↑ Culture Night 後寮にて 日本勢+α



#### <Day5>

Gyeongju（慶州）への小旅行がありました。慶州には、石窟庵、佛國寺などの世界遺産が散在しています。個人的に世界遺産などを巡ることがだいすきなので、とても楽しむことができました。説明を聞きながら、韓国古来のものの考え方などにも少し触れられたと思います。



POSTEC に戻ってからは、ついに少しドレスアップして Farewell Party となりました。このうち前述の通り各プログラムの入賞の発表があったり、Best Friend や Best Staff といった発表もあり、教授も一緒に盛り上がりました。ここで“公式には”最後の別れを惜しむ（そしてこれがこれから続く交流のはじまり）わけですが、実際にはその後の飲み会が特に印象に残っています。5日目ですが、もうずっと長いこと一緒にいた友達のように感じました。POSTEC の学生は皆キャンパス内の寮に暮らしているのですが、その内の一人が「皆ずっとここで一緒に寮生活できたらいいのに」と言っていました。翌日には POSTEC を離れそれぞれの国、地域に帰るわけですが、離れてもずっと keep in touch しようと約束しました。



↑ Dr. と



↑ 台湾からの学生と

#### 4. 雑記～キャンプを通して考えたことをいくつか

- ・ 基本的なコミュニケーションは英語で行われましたが、片言でも、その国の言葉を積極的に使ってみるとよいと思いました。日本語を少し学んでいたという海外の学生が日本語を話してくれたり、「日本語でどう言うの」と聞いてくれると私自身とても嬉しかったので、私も韓国語や中国語を少しだけ習って使うようにしてみました。すると彼らもとても喜んでくれ、ぐっと距離が縮まる気がしました。
- ・ AEARU の参加大学のうち、私は正直今回はじめて知った大学もいくつかあったのですが、東京大学については「日本の最高学府」としてよく認知されていました。その大学の代表として参加させてもらっているんだ、と実感し、身の引き締まる思いでした。



- ・ プログラムの他に、ほとんど毎晩、キャンパス内のバーへ飲みに出かけました。お酒の席でより深い交流ができるというのは本当で、国籍や年齢を超えたファミリーができました。飲みに来ていた学生は日本人と韓国人が比較的多く、東大の学生はほぼ全員が毎日最後まで残っていたので、「東大の学生は勉強だけでなく飲みも強いんだね！」と冗談を言われたりもしました。アルコールが入ると、普段はちょっと聞きにくいこともさらっと話題に出せたり、まじめな話題から恋愛などのカジュアルな話題まで楽しむことができ、より仲良くなるきっかけとなりました。

## 5. 終わりに

サマーキャンプ後も AEARU の交流は続いています。Farewell Party で POSTEC の教授も言っていたことですが、ここからがスタートです。キャンプが終わってから 1 ヶ月弱がたった今ですが、主に facebook(SNS のひとつ)を通して交流を持続しており、特に時差が少ないので chat などもしやすい環境です。すでにソウル大学の友達の一人が別のプログラムで日本を訪れた際に再会し、東大を案内した後に夜ご飯を一緒にしました。その日は彼女が日本で過ごす最後の夜だったのですが、「今夜が一番楽しかった！」と言ってくれてとても嬉しかったです。また、この時に彼女と一緒に韓国から来ていた子 3 人と新たに知り合い、AEARU friend からさらにネットワークが広がっています。更に、来週には POSTEC の子が日本にやってくるようになっており、北京大学から早稲田大学へ 1 年留学しに来る子も一緒に、東京で AEARU Reunion の開催が企画されています。国が違っても、このようにずっと交流を続けていけるのはとても喜ばしいことで、また重要なことです。

今回のワークショップのテーマは”How Can Northeastern Asia Lead the World?”でしたが、このために Trust, Networking, Collaboration という 3 つのキーワードが設定されていました。私たちのプレゼンテーションは Trust についてで、first-hand の情報、face-to-face の話し合いが重要な意義を持つということを強調してきましたが、今回の AEARU はこの良い機会となりました。ここからの Network を絶やさず広げ、信頼関係のある Collaboration を推進し、Asia が世界に貢献していけることを期待し、また自分自身邁進していかなければと改めて感じています。

このサマーキャンプに参加できたことで、私は間違いなく大きな意識の変化と刺激を受けました。この気持ちを持続し、活かしていくことがとても楽しみです。

参加報告書



**AEARU Student Summer Camp 2010**

"How Can Northeastern Asia Lead the World?"

法学部 4年

## Day 1 - Monday, August 16

| From             | To    | Program                     | Venue                          |
|------------------|-------|-----------------------------|--------------------------------|
|                  | 17:30 | Check-in & Registration     | POSTECH<br>Residential College |
| Orientation      |       |                             |                                |
| 17:30            | 17:45 | Introduction to POSTECH     | POSCO International<br>Center  |
| 17:45            | 18:15 | Orientation                 |                                |
| 18:15            | 18:25 | Q&A                         |                                |
| Welcoming Dinner |       |                             |                                |
| 18:30            |       | Introduce Prof. Euiho Suh   | POSCO International<br>Center  |
| 18:30            | 18:35 | Welcoming Remarks           |                                |
| 18:35            | 19:30 | Dinner                      |                                |
| Ice Breaking     |       |                             |                                |
| 19:30            | 19:40 | Introduction to the program | POSCO International<br>Center  |
| 19:40            | 19:55 | Game1: Manitto              |                                |
| 19:55            | 20:05 | Break                       |                                |
| 20:05            | 21:00 | Game 2: Speed Meeting       |                                |
| 21:00            |       | Return to RC                |                                |

早朝6:50のフライトに間に合うよう、前日から金浦空港付近のJimjibangと呼ばれる韓国式宿泊施設に泊まった。韓国語が一言も話せず、英語も通じない環境だったが、身振り手振りとペンとメモ帳でなんとかコミュニケーションをとる。

飛行機の中で新聞を読みながら丁度前日が韓国の独立記念日だったことを知った。新聞には李大統領が前日行ったスピーチ原稿が掲載されていたが、今後の韓国の方向性の一つとして” Reunification Tax” なるものの導入が検討されていることを知った。朝鮮半島が統一された場合に必要であると予想される巨額の支出に備え、今のうちから貯金をしておくための税金である。日本においても増税が検討されている中、韓国の国民から大統領のスピーチと新税導入がどのように受け止められているのか、是非ともAEARU参加学生に聞いてみたいと思った。

金浦空港からポハンまでは1時間弱で到着。浦項工科大学が空港と長距離バスターミナルからのバスの手配を行って下さっていたが、一本目のバスの11:00出発まで3時間近くの時間があった。インフォメーションデスクで浦項周辺の地図を頂き眺めていると、「日本人家屋通り」という表示が目に残った。調べてみると、占領していた頃の日本人家屋がそのま





ま残っている地域があるとのこと。もともとアジア圏の信頼関係の醸成に関心の強い私は、是非ともその地域に行ってみたく



考え、デスクにいた女性にその通りへの行き



方と所要時間を聞いた。偶然その女性は、飛行場のインフォメーションデスクで働いていない日は日本人家屋通りの案内役をしているという、日本語のお上手な市役所職員の方だった。「行くなら背景についてちょっと説明してあげるからこっちにおいで」とインフォメーションデスクの裏に座らせて頂いてから話が盛り上がり、女性は市役所に電話をしてインフォメーションデスクを離れる許可を得た後、一緒に日本人家屋へ行こう、と

言って下さった。二人でバスで家屋通りへ向かいながら、韓国人の日本に対するイメージの変化について様々なお話を伺った。家屋通りでは韓国人の住んでいる家、放置されたままの家と様々だったが、戦前のままの畳や簞笥、障子、屋根等が残っている家も多く、不思議な空気が漂う。韓国人が住んでいる家においては台所など韓国人の生活に合わせて所々改装されていたが、家の外見や全体的なまちづくりは北海道の港町そっくりだそう。日本人の名前が書かれた石碑にはコンクリートが塗られ、韓国人有力者の名前には書き換えられているなど、生々しい歴史の痕跡も残っている。「でも、この地域は韓国の中でも比較的日本人と韓





国人と一緒に暮らせていた場所だったの」と韓国人の女性は説明して下さった。



確かに、日本人の建てていた神社は壊されているが、鳥居は近くに横たわって半分土に埋まった状態に残されている。賽銭箱も少し離れた場所に放置されている。また、石碑の中には、ひとつだけコンクリートで塗られずに残されているものがある。十河弥三朗さん。九龍浦地域で日本、韓国両政府に呼びかけ資金を集め、防波堤を作った人だった。韓国

人・日本人間で様々な差別が存在する中、この人は全く差別をせずに、全ての人に優しく接していたという。町を歩きながら韓国人の方の悲しみや怒りが痛い程伝わってきて申し訳ない気持ちでいっぱいになっていた私にとっては、「よかった、人間的な優しい心を持った日本人もいたんだ」と、涙が出る程嬉しかったと同時に、希望を持てる瞬間だった。

様々な感情、また歴史と「現在」が交差する九龍浦を離れ、飛行場まで戻り、最後のバスでPOSTECHへと向かった。空港の後に止まったバスターミナルで時間がかかってしまいオリエンテーションへは間に合わず、直接ウェルカムディナーに参加することになった。日本人一人いないテーブルで初対面の韓国人、中国人の学生に囲まれながらも、笑いの絶えない楽しいディナーだった。そして何よりも、言葉は通じないものの、全ての人々が箸を使って食べているということに何とも言えない興奮を覚えた。今までアメリカ人やその他西洋の学生との交流が多かった私は、このように生活習慣から親近感を覚えられるという感覚を味わったことがあまりなく、とても嬉しかった。

夕食後はアイスブレイキングセッション。夕食で目の前に座っていた韓国人の子が全てのアイスブレイキングを企画したとのことだったが(彼は緊張して夕食中ろくに食べ物も口に入らない状態だった)、多くの参加者と話せるよう、また参加者の緊張をほぐし楽しく仲良く



なれるよう、様々な工夫がなされておりとても良いアイスブレイキングセッションだと思った。終わった頃には部屋中が熱気と笑いに溢れていた。

## Day 2 - Tuesday, August 17

| From                            | To    | Program                   | Venue                      |                   |
|---------------------------------|-------|---------------------------|----------------------------|-------------------|
| 08:00                           | 09:00 | Breakfast                 | Student Cafeteria          |                   |
| Opening Ceremony & Invited Talk |       |                           |                            |                   |
| 09:30                           | 09:40 | Opening Ceremony          | POSCO International Center |                   |
| 09:40                           | 09:50 | Welcoming Remarks         |                            |                   |
| 09:50                           | 10:35 | Plenary Speech 1          |                            |                   |
| 10:35                           | 10:50 | Coffee Break              |                            |                   |
| 10:50                           | 11:35 | Plenary Speech 2          |                            |                   |
| 12:00                           | 13:00 | Lunch                     |                            |                   |
| POSCO Tour                      |       |                           |                            |                   |
| 13:00                           | 13:20 | Move to POSCO             | POSCO Plant & Museum       |                   |
| 13:20                           | 13:50 | POSCO PR Center           |                            |                   |
| 14:00                           | 15:00 | POSCO Plant Tour          |                            |                   |
| 15:00                           | 15:30 | POSCO Museum Tour         |                            |                   |
| PAL & PIRO Tour                 |       |                           |                            |                   |
|                                 |       | Group1                    | Group2                     | PAL & PIRO        |
| 15:30                           | 15:50 | Move to PIRO              | Move to PAL                |                   |
| 16:00                           | 16:30 | PIRO Tour                 | PAL Tour                   |                   |
| 16:30                           | 16:40 | Move to PAL               | Move to PIRO               |                   |
| 17:00                           | 17:30 | PAL Tour                  | PIRO Tour                  |                   |
| 17:30                           |       | Return to RC              |                            | Student Cafeteria |
|                                 | 19:00 | Dinner                    |                            |                   |
| Concerts                        |       |                           |                            |                   |
| 19:00                           | 19:10 | Opening                   | Auditorium                 |                   |
| 19:10                           | 19:30 | Performance 1: Cheers     |                            |                   |
| 19:30                           | 19:50 | Performance 2: Ctrl-D     |                            |                   |
| 19:50                           | 20:10 | Performance 3: Steeler    |                            |                   |
| 20:10                           | 20:20 | Interval                  |                            |                   |
| 20:20                           | 21:00 | Performance 4: Pungmulhon |                            |                   |
| 21:00                           |       | Closing                   |                            |                   |



初めてPOSTECHの食堂で朝食。韓国風と洋風の朝食のどちらかを選ぶ仕組みだが、どちらにしても別途取り放題のキムチコーナーがある。彼らにとっては当たり前のことだが、とても新鮮だった。

午前中は2つの講演が行われた。一つ目は韓国系アメリカ人のDr.

による“The Emerging Asian Economic Power in the 21st Century”という題の講演であり、様々な統計やデータを使いながら、偉大なるアジアの力について確認するものであった。経済力を考える際に、結局は人的キャピタルと、法や秩序からなる社会的



Institution”が重要であると考えた上で、更にアジア圏の協力関係を確保する上でも信頼性と安定性という観点から”Institution”の整備・強化をすべきだとDr. は仰った。アジア地域における問題点には一旦目を伏せ、ポジティブな潜在的可能性に主眼を置いて考えるプレゼンテーションであったため疑問の残る箇所も所々あったが、Dr.

の存在感と説得力のあるプレゼンテーションに感嘆した。Dr. のお話を伺いながらアジアについてより一層の自信をもつことが出来たと同時に、世界の目から見たアジアについて考える機会となった。現在、西洋では「中国」や「インド」単独での力が注目されることが多く、「偉大な力」や「脅威」として捉えられる。しかしアジア圏で現在存在する相互の不安感や歴史問題を克服することが出来れば、アジア全体は西洋にとって未だかつてないほどの大脅威となりうるのだと実感した。



二つ目の講演は 教授による、”Opportunity for East Asian Entrepreneurs as Global Leaders”

という講演であった。教授自らの起業経験をもとに、どのような条件が整った時に起業を実行すべきかということから、継続的にビジネスを続けていくために必要な心意気に関してご講演下さった。本来ならばPOSTECHにいらしたはずだった

が、急遽仕事の用事でソウルに行かなければならなくなったということでソウルのオフィスからテレビ電話で講演をして下さり、近代的なラーニング環境も体験できた。



偶然かもしれないが、前日のオープニングディナー、そして2日目のプレゼンテーションを通して気付いたことがあった。AEARU参加学生の出身国・地域について触れる際、日本は毎回最後に挙がってきたのだ。大抵「中国」からリストが始まり、「台湾」、「香港」、「韓国」、そして「日本」。アジア圏において日本の力が衰退していることを表しているようで、非常に興味深かった。

午後はPOSTECH大学を作ったPOSCO社、及びPOSTECH内で行われている研究の見学を行った。POSCOでは会社及び産業の歴史について知ることが出来るミュージアム、また熱い真っ赤な鉄板の冷却施設の見学などをさせて頂き、偉大なる製鉄会社の力を肌で感じる事が出来た。研究所はPAL (Pohang Accelerator



Laboratory), 及びPIRO (Pohang Institute of Intelligent Robotics)の2つを見学し、文系の私は普段あまり触れることが出来ない最先端の研究に大変ワクワクした。

一日の締めくくりはPOSTECH学生によるコンサート。日本では馴染みのない美しい



衣装を身にまとった男女チアリーダーやダンス、バンドのパフォーマンスを見ることが出来、皆で盛り上がる中でより一層メンバーと仲を深めることが出来た。また、コンサートの最後にはPungmulnoriと呼ばれる伝統的な踊りが披露され、太鼓やシンバルからなるユニークかつダイナミックなコリアンリズムを楽しんだ。

## Day 3 - Wednesday, August 18

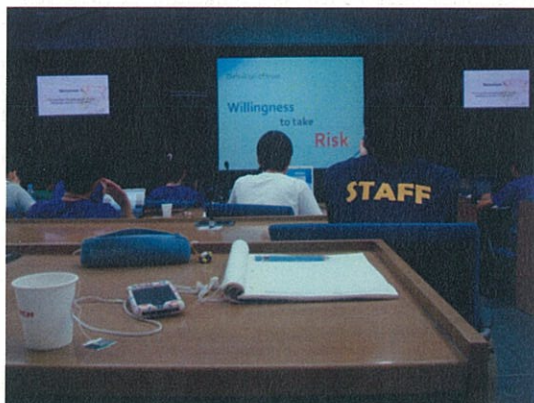
| From                                                                    | To    | Program                            | Venue                      |
|-------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------|----------------------------|
| 08:00                                                                   | 09:00 | Breakfast                          | Student Cafeteria          |
| <b>Workshop</b>                                                         |       |                                    |                            |
| 09:10                                                                   | 09:15 | Opening & Introducing Commentators | POSCO International Center |
| <b>Session 1: Facing the Challenge of Trust between Asian Countries</b> |       |                                    |                            |
| 09:15                                                                   | 09:20 | Introduction                       |                            |
| 09:20                                                                   | 09:40 | Presentation 1: Peking Univ.       |                            |
| 09:40                                                                   | 10:00 | Presentation 2: SNU                |                            |
| 10:00                                                                   | 10:10 | Coffee Break                       | POSCO International Center |
| 10:10                                                                   | 10:30 | Presentation 3: POSTECH            |                            |
| 10:30                                                                   | 10:50 | Presentation 4: Tokyo Univ.        |                            |
| 10:50                                                                   | 10:55 | Comments on Session 1              |                            |
| 10:55                                                                   | 11:00 | Short Recess                       |                            |
| <b>Session 2: Going Global Beyond the Invisible Barrier</b>             |       |                                    |                            |
| 11:00                                                                   | 11:05 | Introduction                       |                            |
| 11:05                                                                   | 11:25 | Presentation 1: USTC               |                            |
| 11:25                                                                   | 11:45 | Presentation 2: Tokyo Tech.        |                            |
| 11:45                                                                   | 12:00 | Lunch                              |                            |
| 12:00                                                                   | 12:20 | Presentation 3: Osaka Univ.        | POSCO International Center |
| 12:20                                                                   | 12:40 | Presentation 4: KAIST              |                            |
| 12:40                                                                   | 14:00 | Presentation 5: Tsukuba Univ.      |                            |
| 14:00                                                                   | 14:05 | Comments on Session 2              |                            |
| 14:05                                                                   | 14:15 | Coffee Break                       |                            |
| <b>Session 3: Sustaining the Globe in Search of Asian Collaboration</b> |       |                                    |                            |
| 14:15                                                                   | 14:20 | Introduction                       |                            |
| 14:20                                                                   | 14:40 | Presentation 1: Peking Univ.       |                            |
| 14:40                                                                   | 15:00 | Presentation 2: HKUST              |                            |
| 15:00                                                                   | 15:20 | Presentation 3: Kyoto Univ.        |                            |
| 15:20                                                                   | 15:30 | Coffee Break                       | POSCO International Center |
| 15:30                                                                   | 15:50 | Presentation 4: Nanjing Univ.      |                            |
| 15:50                                                                   | 16:10 | Presentation 5: Tohoku Univ.       |                            |
| 16:10                                                                   | 16:30 | Presentation 6: NTHU               |                            |
| 16:30                                                                   | 16:35 | Comments on Session 3              |                            |
| <b>Pohang City Tour</b>                                                 |       |                                    |                            |
| 18:00                                                                   | 18:30 | Move to the Restaurant             | THD                        |
| 18:30                                                                   | 19:30 | Dinner                             |                            |
| 19:30                                                                   | 19:50 | Move to Bukbu Beach                | Bukbu Beach                |
| 20:00                                                                   | 21:30 | Free Time                          |                            |



今日は待ちに待ったプレゼンテーション発表日。私達は一番最初にプレゼンテーションを行うトピック1：“Facing the challenge of trust between Asian countries”

担当だった。私は前日にトピック1の開幕スピーチという大役を引き受けてしまったため、ほぼ徹夜でスピーチを書いていた。直前まで読み返しと訂正に焦りつつも、いざホールの前に立ちスピーチを始めると、原稿を見る必要がないほど自然と言葉が出て来た。自分にとって、東アジアの信頼関係という課題がいかに大切なものであるのかを実感した。

プレゼンテーションでは、各大学が夫々の視点からテーマに関しての見解を発表した。例えば私達のトピックの場合は各人の文化的アイデンティティーと包括的な「memory」（cultural identity and collective



memory）の形成という観点から発表した北京大学、国家間の問題がインターネット上のサイバー戦争などにも発展するという現代的な観点を盛り込んだソウル国立大学、信頼関係の要素と計測方法に焦点を当てて発表したポステック、そして信頼関係を今回取り上げられた全テーマの土台として捉え、日本の視点と現状を盛り込みつつ解決策を模索した我々東京大学チーム。事前相談をしていたわけでもなかったが、驚く程上手に分散された4つの観点からの発表で、「過去」・「現状」・「現状の評価／計測」・「未来」を網羅することが出来た。翌日は4つのチームで集まって改めて全体としてのディスカッションを行えるとのことで、楽しみでならなかった。

その後、トピック2：“Going global beyond the invisible barrier”、そして昼を挟んで午後もトピック3：“Sustaining the Globe in search of Asian collaboration”とプレゼンテーションが続いた。自分のスピーチと発表が開始早々に



終わったため、他のプレゼンテーションに集中できたが、やはり全てのテーマに関して信頼という課題は共通しているように感じた。過去を忘れることなく胸に刻んでおいたまま、なお東アジアとして一丸となって未来へ向けて相互理解と協力を進めるという理想型を、如何にして追及していけば良いのだろうか。

夜、バスで少し遠くの海へ向かった。学校内とは少し違った雰囲気の中、各々自由に2時間を過ごした。近くのカフェやバーで時間を過ごす者、海岸に座って人生を語る者、カメラ片手に面白写真を撮りまくる者、夜の海に飛び込み着衣水泳を始める者……。遠くに見える都市の夜景と海から吹き上がるライトアップ噴水がとても美しかった。前日の夜の寝不足で疲れているはずが興奮でどうも寝られそうになく、海から戻ってからも結局日が変わり暫くするまで、スタッフや他国参加者と一緒にキャンパス内のバーに集まって話していた。プログラムで与えられたテーマからはかけ離れた日常や家族事情、就職や兵役に関する不安などのプライベートな話をしている時こそ、AEARUのような学生交流の真の意味を実感する。



## Day 4 - Thursday, August 19

| From                      | To    | Program                   | Venue                      |
|---------------------------|-------|---------------------------|----------------------------|
| 08:00                     | 09:00 | Breakfast                 |                            |
| <b>Discussion Session</b> |       |                           |                            |
| 09:00                     | 10:30 | Group Discussion          |                            |
| 10:30                     | 10:40 | Coffee Break              |                            |
| 10:40                     | 11:10 | Presentation on Session 1 | POSCO International Center |
| 11:10                     | 11:40 | Presentation on Session 2 |                            |
| 11:40                     | 12:10 | Presentation on Session 3 |                            |
| 12:10                     | 13:00 | Lunch                     | Student Cafeteria          |
| <b>POSTECH Tour</b>       |       |                           |                            |
| 13:00                     | 17:00 | POSTECH Tour              | POSTECH Campus             |

| <b>BBQ Party &amp; Culture Night</b> |       |                                       |       |
|--------------------------------------|-------|---------------------------------------|-------|
| 18:00                                | 18:30 | BBQ Party                             |       |
| 18:30                                | 18:40 | Opening & Introduction                |       |
| 18:40                                | 18:55 | China: Mid-Autumn Festival            |       |
| 19:00                                | 19:15 | Hong Kong: Role Play                  |       |
| 19:20                                | 19:35 | Japan: Introducing Japanese Culture   | Outer |
| 19:40                                | 19:55 | Japan: Festivals in Japan             |       |
| 20:00                                | 20:15 | Taiwan: Songs from Our University     |       |
| 20:20                                | 20:35 | Korea: Traditional Korean Culture     |       |
| 20:40                                | 20:55 | China: Beijing Opera Culture in China |       |
| 21:00                                | 21:15 | Japan: Bon Festival Dance             |       |

この日の朝はテーマごとのディスカッション。前日のプレゼンテーションをふまえ、東アジアの未来についてグループごとに議論を行い、その結果を発表した。前日のスピーチに引き続きテーマ1については私がファシリテーターを務めることになったのだが、国、更には学校というくくりを外し、10名の個人として議論に参加する全員の意見を1時間半でまとめるのは困難を極めた。結局発表直前までプレゼンテーションスライドを作っている始末。参加者・スタッフ全員の前で発表を行うと、「メディアなどにとらわれず、実際にそれを体験する人間の生の意見を出来る限り収集すべき」という意見は分かるが、メディアと同じように個人の意見も同程度、もしくはそれ以上のバイアスがかかっている。それについてはどう考えているのか。」など鋭い質問も飛んで来て、とても有意義なデ





イスカッションをすることが出来た。



午後はチームごとにポステックキャンパス内のステーションをまわりながらクイズに答えたりアクティビティを行ったりして総合点数を競うゲームを行った。皆汗をだらだら流しながら広いキャンパスを歩き回り、全てが終わる頃にはもう夕方。キャンパス内の主要ポイントを全て網羅できるようデザインされたゲームは大変面白く、チームの相

性や協力関係も試されたため一気に全員の仲が縮まった。

夜はバーベキューパーティーで韓国伝統料理の焼き肉や腸詰め、餅などを堪能した。辛さに慣れさえすれば、ヘルシーで野菜の多い韓国料理は日本人の口に合うと思う。パーティーに引き続き、各国の文化や生活を紹介する「カルチャーナイト」イベントが行われた。日本の大学は3チームに分けられ、それぞれ事前打ち合わせのもと、日本の学生生活や伝統文化を紹介した。私達のチームは「祭り」をテーマに浴衣や縁日遊び、お好み焼きを紹介した。その場で焼いてみせるジャパニーズジョン（チヂミ）に皆とても興味を示し、美味しい美味しいと食べてくれた。ハングルの由来、中国オペラの実演など、他大学のプレゼンテーションも大変勉強になった。





## Day 4 - Friday, August 20

| From                         | To    | Program                  | Venue                      |
|------------------------------|-------|--------------------------|----------------------------|
| 08:00                        | 09:00 | Breakfast                | Student Cafeteria          |
| <b>Excursion to Gyeongju</b> |       |                          |                            |
| 09:30                        | 10:00 | Move to Gyeongju         |                            |
| 10:00                        | 10:40 | Seokul Grotto            | Gyeongju                   |
| 11:00                        | 12:00 | Bulguk Temple            |                            |
| 12:30                        | 13:30 | Lunch                    | Yukbu-chon                 |
| 14:00                        | 15:00 | Gyeongju National Museum |                            |
| 15:20                        | 16:00 | Anapji                   | Gyeongju                   |
| 16:00                        | 16:30 | Return to POSTECH        |                            |
| <b>Farewell Party</b>        |       |                          |                            |
| 18:30                        | 18:40 | Opening                  |                            |
| 18:40                        | 18:45 | Plenary Speech           |                            |
| 18:45                        | 18:50 | Toast                    |                            |
| 18:50                        | 20:00 | Dinner                   | POSCO International Center |
| 19:30                        | 19:40 | Photo Slideshow          |                            |
| 19:40                        | 19:50 | Awards Announcement      |                            |
| 19:50                        | 20:00 | Closing Remarks          |                            |
| 20:00                        | 20:30 | Photo Time               |                            |

この日は韓国の歴史文化都市、慶州地域への遠足を行った。プレゼンテーションやディスカッション等も終わっていたため、強い日差しに参りながらも全員リラックスして参加することが出来た。



日本との繋がりや仏教についての新しい発見が多かった仏国寺や、慶州地域の発掘調査によって出土した多くの文化財を保存展示している慶州国立博物館も大変興味深かったが、何より慶州はバスから見える街並が本当に素敵だ。モダンな建物が殆どなく、韓国の古都ならではの風景がずっと続いている。過去と現在が

交差する韓国の景色を眺めながら新しく出来た韓国人の友達と徴兵制度や韓国における恋愛関係について話したのはとても貴重な思い出である。

キャンパスに帰ったあとは、それぞれ綺麗な服装に着替えてフェアウェルパーティーが行われた。教授陣が決定した各トピックごとの優秀プレゼンテーションや、私達デリゲートの中で決められたカルチャーナイト優秀賞が発表された。我々東大チームは光栄





にも第1テーマの優秀プレゼンテーションに選ばれ、またカルチャーナイトにおいても優秀チームに選んで頂くことが出来た。AEARU が終わってしまうといよいよ誰もが実感し、思い出写真を撮っていた。その夜はキャンパス内のバーに集まる人数が今までになく多かった。東大メンバーは、「まだ終わってはしくない」「みんなと出来る限り一緒にいたい」という想いが人一倍強かったのか、他国のチームが次の日の移動等を考えて部屋へ戻ってからも、体調を悪くしてしまっていた一名以外の全員が明るくなるまで外で話していた。綺麗な日の出を一緒に見つめ韓国人の友達と日本でまた会うことを約束しながら、短い期間ながらも本当に強い絆が参加者の間で幾つも築かれていたことを

実感した。

